と教師にシー 09 5 C ルをもらいます。 000000000

友達からもお祝いしてもら

クラスの中で発表していき

育

チャレンジカードを使って 年長児の取組

には、

お家でも挑戦できるようカ

ドを持ち帰り、

できるようにな

も達を応援していきます。

冬休み

ども達の背中を押

頑張る子

「次も頑張ってみる」

という子

●嵐山幼稚園

挑戦 教師も ごとに挑戦する内容を変え、子ど も達の頑張りを引き出せるよう、 て様々なことに挑戦するチャレン るよう年少、年長共に、遊びを通し 遊ぶことの楽しさを感じてもらえ 嵐山幼稚園では、 したことができるようになる ドを作成しています。 一緒に応援していきます。 体を動かして 年齢

戦するようになりました。

けていきたいと思います

思いやりの木

やる気も継続し、 取り組んでいく事で、

楽しみながら挑

子ども達の

きました。幼稚園と家庭が一緒に

った事をお家でも楽しんでいただ

挑戦 に合 5段跳びたい」とそれぞれが自分 20回跳べるようになる」「跳び箱 目標を一人ずつ決め、「あや跳び クリアすると教師からメダルをも てくれたり、 きなかった目標も、 てくれた子ども達でした。 たりすることで、 年長の3学期初め、 った目標を立て、 していきました。 友達と一緒に挑戦し より力を発揮し 友達が応援し なかなかで 自分自身の 遊びの中で

達が一緒にやってくれたからでき 例として、 張る事で、 達が感じ、 応援してくれて嬉しかった」「友 貼っています。 もらった嬉し やりの木」 かす事の楽しさや爽快感を子ども るようになった」 いものとなりました。その一つの した取組を通して、 を飾り、 また、 友達との関係もより濃 年長の部屋に いことを言葉にして そこに、 友達と一緒に頑 という子ども達 友達からして 「友達が 「おもい



後も と」の大切さを子ども達に働きか が現れる取組みとなりました。 もって挑戦することで、 きるようになった‼という自信を ってみたら楽しい‼こんな事もで った状況が生まれてきました。 シールがたくさん増えていると れたりすることで、 うになったことを友達が喜んでく ンジカードを通して、 の声が聞こえてきま 友達を応援したり、 「頑張ること」「挑戦 いつの間に た。 友達と関わ できるよ より効果 するこ チ ヤ

Þ

図書館ビジョンを策定しました

図書館では今後のよりよい運営のため、図書館ビジョンを策定しました。その中心となる「基本理念」と「5つ の方針」は下記のとおりです。

運営の基本理念

「すべての町民にサービスを!」

🍆 基本理念を支える5つの方針

(1) いちばん身近な「知識と情報の拠点」となる図書館

町民の生涯学習の拠点として、すべての町民が快適にサービスを受けられる図書館を目指します。

(2) 町民のニーズに応える図書館

多様化していく町民の要望に応えられる図書館を目指します。

(3) 子どもの読書を推進する図書館

子どもたちが本に親しみ、人生をより深く豊かなものにできるよう、本との出会いや魅力に触れる環境を提供 する図書館を目指します。

(4) 郷土の歴史や文化を大切にする図書館

地域の歴史や文化を深く知ることは、よりよい郷土を創造していく力を育てます。社会に貢献する心や、ふる さとへの想いを育む図書館を目指します。

(5) 町民とともに発展する図書館

町民の自主的な図書館運営への参加・協力を促し、ボランティアの育成やサークルの創設など、町民と協働す る図書館を目指します。

【開館時間変更のお知らせ】 図書館の開館時間が4月1日から9時30分に変わります。



こしディレクターだより



町おこしディレクター 神岡さんを紹介します!

平成28年度策定した嵐山町総合戦略で計画し、「新たな産業の風をおこす」ために始まった地域活性化事業。 「町おこしディレクター」の方が、平成29年1月23日から正式に活動を行っています。嵐山町の中を歩いたり、 東京に行って嵐山町を売り込んだり、新たなコラボレーションを作り、実行したり。3年間という短い期間です が、ちょっと変わった役割をお願いしておりますので、「一緒に」ご協力をお願いします。

嵐山町観光協会から委嘱を受け、地域支援課と観光協会との共同で事業を進めています。

町おこしディレクター神岡さんメッセージ

初めまして、神岡裕介と申します。この度、嵐山町からご縁を頂きまして、町お こしディレクターとして採用して頂きました。

これまでは、メーカー、コンサルタント、水族館勤務などを経てきております が、心に決めていることは、「社会に貢献したい」ということです(当たり前のこ とかもしれませんが)。町おこしディレクターに応募したのも、嵐山町が人口減少 や知名度に課題を感じており、それを少しでも打破していきたいという気持ちを強 く感じ、心が動き、応募しました。まちおこしを考えながら、企画を練っていくの はもちろんですが、地方創生のゴールは、「愛郷心」「住民PRIDE」を育むことだと考 えております。嵐山町でこんなことをするんだ!面白い!!という企画をすること で、町民の方が町外の人に自慢できるような「出来事」を、皆さんと起したいです。

最後に、フレーズだけですが、

観光地=感幸地(幸せを感じられる地)。

「公共 | 空間で「交響 | しあい、「好況 | にしたい。

町内を回ってまちおこしのヒントやアイディアを探しています。私を見かけた際 はお声掛け頂ければ幸いです。

~このコーナーでは町おこしディレクター神岡さんによる地域活性化につながる活動をご紹介していく予定です~ **問合せ** 地域支援課 政策創生担当 **☎**62-2152



裕介(35歳) 神岡 埼玉県所沢市出身、東京都

東久留米市在住。公園施設 メーカー、建設コンサルタ ントなどの業務を通じて公 共空間の整備・環境調査に 携わる。その傍らボランテ ィアとして河川の保全・啓 蒙活動を行い、川を利用し たまちづくりや賑わい作り の企画を現在も行っている。